

製品名: 伸長因子 2 (4B3) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03456**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC/IF, CHIP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, CHIP 1:20
分子量	Calculated MW: 95 kDa; Observed MW: 95 kDa

抗原情報

遺伝子名	EEF2
別名	EEF2; EF2; Elongation factor 2; EF-2
遺伝子 ID	1938
SwissProt ID	P13639
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

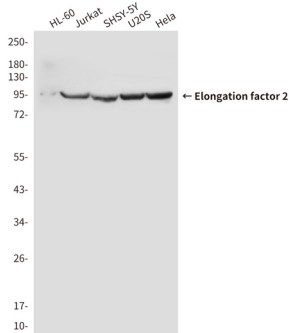
翻訳伸長過程における GTP 依存性リボソーム転座段階を触媒する。この段階では、新たに形成された A 部位に結合したペプチジル tRNA と P 部位に結合した脱アシル化 tRNA がそれぞれ P 部位と E 部位へ移動することで、リボソームは転座前 (PRE) 状態から転座

後 (POST) 状態へと変化する。

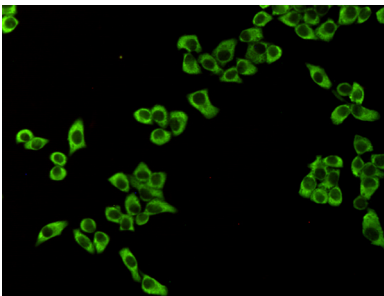
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



eEF2 抗体を使用した HL-60、Jurkat、SH-SY5Y、U2OS および HeLa 溶解物中の eEF2 のウエスタンブロット分析。



eEF2 抗体を用いた HeLa 細胞の伸長因子 2 (4B3) の免疫細胞化学分析。